

平成19年度農薬飛散リスク評価手法等確立調査検討会（第2回） 議事概要

1 開催日時及び開催場所

日 時：平成20年2月5日（火）13：30～16：15

場 所：砂防会館（別館 立山）

2 出席委員（敬称略）

有田芳子、上田哲男、小林由幸、福島哲仁、福山研二、森田昌敏

3 会議の概要

（1）モニタリング調査結果について

調査実施事業者の（社）農林水産航空協会より資料1の平成19年度モニタリング調査結果概要報告（案）について説明が行われ、その後、委員による議論が交わされた。

その結果、8月の調査において フェニトロチオンとエトフェンプロックスの土壌中残留量がともに5日後に最も高い値となった理由、エトフェンプロックスの気中濃度が7日後に突然検出された理由、について委員からのコメントも参考に考察し、可能な範囲で報告書に盛り込むこととされた。

（2）基礎調査結果について

調査実施事業者の（社）日本植物防疫協会より、資料2の平成19年度基礎調査結果概要報告（案）について説明が行われ、その後、委員による議論が交わされた。

その結果、報告案が了承された。

（3）公園・街路樹等病害虫・雑草管理マニュアルについて

環境省より、資料3の公園・街路樹等病害虫・雑草管理暫定マニュアル（案）について説明が行われ、その後、委員による議論が交わされた。その結果、全般的に丁寧にまとまっているが、一部に断定的な表現があるので補足的な説明を加えること、フェロモン剤の中に公園や街路樹では使用場面があまり無いものがあるので掲載について再検討すること、時系列的なフロー図や索引項目を充実してより活用しやすくすること、などの意見がだされ、これらをマニュアルに反映することとされた。

（4）その他

環境省より、参考資料6の農薬環境管理室関連の平成20年度予算案重点事項について説明された。

事務局より、次回の検討会を3月21日（金）に開催する旨が連絡された。

（以上）